

カーボディマスター科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画			
時 期	3年後期	単 元	実 習	教科名	車両製作 板金	
科 目	自動車検査作業	教科書等 持参品	日産車体整備士テキスト		発行日	
			日産塗装士級テキスト			
総時限	81				教科 担当	上谷 晃一
総時間	129.6					濱村 和樹
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当						
・車体整備士として板金・塗装全般の実務経験がある教員により自動車板金、塗装全般の作業・作動について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
・熱硬化性樹脂の種類と部品制作工程を理解する ・F R Pでの部品制作を理解する ・カスタムボデーを作成する中でB P技術を理解する						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
・F R Pの特性を理解する ・主剤と硬化剤の特長を理解する ・ガラス繊維の特長を理解する ・補修部品成形作業を理解する ・バンパー、パテ成形を理解する ・上塗り作業手順を理解する ・バンパーの磨き方を理解する ・カスタム車両を製作しながら板金、塗装手順を理解する						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・実習授業時に行なう作業が正しく出来るか、技量と取り組み姿勢を 100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。						
5. 準備学習						
・過去2年間で学んだ自動車整備の基礎知識全般を復習しておくこと						
6. 学修時間と単位						
本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。						

カーボディマスター科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

時 期	3年後期	単元	実習	教科名	車両製作 板金		
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）						8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容					資料、備品類	数量
1	車両保護マスキング						
2	"						
3	"					・ノコ刃、サフォーム、ペーパー	
4	"						
5	マスキング・テープでのマスキング					・エアガン	
6	"						
7	"					・パテッシュ、中間パテ	
8	"					・パテヘラ	
9	アルミ泊によるマスキング						
10	"					・アルミ泊、離型ワックス	
11	"						
12	"					・ガラス・マット	
13	発泡ウレタン用型枠作り					・樹脂ノンパラ、硬化剤	
14	"						
15	ダンボールでの形作り						
16	"					・樹脂塗布専用ローラー	
17	発泡ウレタンの調合（主剤と硬化剤の配合）						
18	型枠への発泡ウレタンの流し込み						
19	"						
20	指触乾燥確認						
21	"						
22	"					・タガネ	
23	"						
24	型枠の外し方					・木ハンマー	
25	"					・影タガネ	
26	成形車両の寸法測定					・スプーン	
27	"					・溶殖機	
28	レーザーを使った車両中心だし					・スライド・ハンマー	
29	"					・パテ類	
30	左右対称寸法確認					・パテッシュ	
31	"					・パテヘラ	
32	発泡ウレタンの荒削り					・ラッカーシンナー	
33	"					・ウエス	
34	左右対称寸法確認						
35	"						
36	発泡ウレタン成形作業						
37	"						
38	発泡ウレタンの離型前処理作業						
39	"						

40	パテ付け		
41	〃		
42	〃		
43	アルミ泊はり、離型ワックス塗布		
44	〃		
45	ガラスマットの採寸及び裁断		
46	ガラスマット貼り付け順序確認と貼り付け		
47	樹脂の調合確認と注意事項		
48	〃		
49	樹脂の塗布		
50	〃		
51	樹脂の泡抜きと指触乾燥確認		
52	〃		
53	離型作業		
54	エア-を使った方法		
55	タガネを使った方法		
56	完成品の確認と清掃		
57	〃		
58	アルミ泊はりとワックス塗布		
59	〃		
60	ガラスマットの採寸、ガラスマット裁断		
61	ガラスマット貼り付け順序確認と貼り付け		
62	〃		
63	F R P 樹脂の塗布、指触乾燥確認		
64	離型作業		
65	〃		
66	製品の確認		
67	〃		
68	清掃作業		
69	製品の足付け		
70	製品へのパテ付け面だし		
71	〃		
72	〃		
73	〃		
74	〃		
75	〃		
76	〃		
77	車体との仮合わせ。チリの確認		
78	パテ付けパテ研ぎ。		
79	〃		
80	〃		
81	〃		

※ 期末試験は授業時間に含まない